

エンジン油

漁船用内燃機関においては、高速化がすすみ、同時に小型軽量化・高出力化が著しい傾向となっています。

このため、潤滑油の使用温度が上昇するため、優れた高温清浄性、熱安定性・酸化安定性が求められます。

また、小形沿岸漁船の場合、特に冬期間温度が下がっても、始動性の良好なマルチグレードタイプのエンジンオイルが良いでしょう。

【船舶(漁船)用エンジン油】

油種	新日本石油	出光興産 (ダフニー)	コスモ石油	シェル石油	エクソンモービル (スタマリン)	ヤンマー純正 (ヤンマー)
マルチ グレード	マリン F 10W-30 15W-40	マリンSXマルチ 15W-40 (15)	スーパーマルチ 10W-30 スーパーマルチX 15W-40	ガデニヤマルチ 10W-30 (11)	スタマリン XX 15W-40(15)	ハイパーロイヤル 15W-40 (CF) スーパーロイヤル 10W-30 (CD) 15W-40 (CD) スーパーDX 10W-30 (CC)
トランク ピストン油	マリン F 30, 40 マリン T 102 103 104 マリン T 203 204 マリン T 303 304 マリン T 404 504	マリン SS 20, 30, 40 (6) マリン SX 30, 40, 50 (12) マリン SW 30, 40 (20) マリン MV 30, 40 (25) マリン SH 30, 40 (40)	マリンスーパー 30, 40 コスモマリン 3010 4010	ガデニヤ 30, 40 (11) リムラ 30, 40 (16) リムラ FB 30, 40 (20) アーギナ X 30, 40 (40)	エクストラ 30, 40 (15) エクストラ MR 30, 40 (24) エクストラ SR 30, 40 (30) スタマリン S 40 (40)	マリンスーパー 30, 40
船外機用 (2サイクル)	アウトボード	アウトボード エンジンオイル	2サイクルマリオ			

※()内の数字は、全塩基価(TBN)を示します。

2009年1月改編